

要 請 書

十万の兒童を餓死せしめ六万の娘を賣らしむ、東北農村窮乏は最早單なる凶作の類ではない、之は既に農村を根底より打壞して居る、問題の中心は此の點である、然るに支配階級の認識は故意に此の點を隠蔽し單なる凶作慘害として二千万農民の餓死を輕視して居る、その証據には應急策として拂下げた米はどうであつたか、近畿風水害の瀧米七十万石を而も金のない農民に對し升賣は償還だからとして俵賣りにした事實、支配階級の何處に誠意と國民生活を考慮する政治道徳があるか、

抑々瀧米を餓死に瀕する我が同胞に送るとは余りに人民を馬鹿にしてゐる、而かもそれを金をとるとは客觀的情勢に通ぜざるも亦甚だしい、餓ゆる程の者に金のあらう筈がない、山の木の葉で生命を續いでゐるものゝある程だ、

一方政府の倉庫には一千余万石の米が刻々に腐敗變質しつゝある、

飢ゆる農民を前にして山なす米が腐つて行くとは昔の地獄の輪その儘でないか、軍事費十億二千万圓それも結構であらう、國民が飢えて大砲の化物が踊る我々は斯かる非社會的現象に斷乎反對せざるを得ない、此處に於て我々は政府に望む、一切の工作の前に國民生活の工作を始めよ、先づ第一に東北窮乏農村に對し無償補米せよ、更に今后農民生活の工作準備なるまで政府米を廉價で貸與しその損失は政府で補償し之れを年賦償還の形で取れ、

次に肥料、種子、等三年間無償交付すべし、勤勞農民の一切の税金を當分全免し更にモラトリアムを施行すべし、救農土木事業を擴大せよ、

更に最も重大なるは一切の小作地の取上を禁止する法を制定すべし等々の要求を斷乎我々は政府に迫るものである、

夫れよく政府當局者は情勢の遷移を審察して善處の使命を明かにせよ、